



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 東芝機械株式会社
コード番号 6104 URL <https://www.toshiba-machine.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三上 高弘
問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室長 (氏名) 甲斐 義章 TEL 055(926)5072
四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	25,715	3.2	△388	—	△401	—	△441	—
2019年3月期第1四半期	24,913	8.3	△324	—	△164	—	△184	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △997百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △120百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△18.29	—
2019年3月期第1四半期	△7.63	—

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	148,488	81,295	54.7
2019年3月期	150,724	83,197	55.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 81,295百万円 2019年3月期 83,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	37.50	—
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	42.50	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、2020年3月期(予想)の第2四半期末および期末の配当金には、それぞれ記念配当5円00銭を含んでおります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,000	0.9	2,400	48.2	2,700	△0.0	2,000	3.4	82.86
通期	122,000	3.9	5,300	38.2	6,300	13.0	4,400	7.9	182.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	29,977,106株	2019年3月期	29,977,106株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,841,713株	2019年3月期	5,841,537株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	24,135,441株	2019年3月期1Q	24,136,344株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) 受注実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2020年3月期 第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、海外の通商政策の動向、中国経済の減速継続、世界的な地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。わが国経済も世界経済減速の影響を受けて、輸出や生産には弱さが見られました。

当社グループが属する機械業界につきましても、国内の設備投資は、中国経済の減速による輸出低迷を背景に慎重な姿勢が見られ、海外は対象とする市場や製品により景況感に差異が生じております。

このような経済環境のもとで、当社グループは新中期経営計画「Revolution E10 Plan」を2019年4月1日からスタートさせました。「機械メーカーの総合力を最大限活かして成長し続けること」を基本指針とし、早く、激しく変化する時代において勝ち残り、成長するために従来の考え方や仕事の進め方を大きく変えて、収益力向上への変革を目指してまいります。

その上で、体質改善、商品力の共有と強化、成長投資による企業価値の向上に向けた諸施策に取り組み、「新たな産業を創造する力」でお客様と共に価値を創る「価値共創メーカー」へと進化してまいります。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、284億3千7百万円（前年同期比21.5%減）、売上高は、257億1千5百万円（前年同期比3.2%増）となりました。損益につきましては、営業損失は3億8千8百万円（前年同期は営業損失3億2千4百万円）、経常損失は4億1百万円（前年同期は経常損失1億6千4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億4千1百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億8千4百万円）となりました。

②セグメント別の概況

成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

射出成形機におきましては、国内外で自動車向けを中心とした設備投資が軟調に転じて、販売と受注が減少いたしました。

ダイカストマシンにおきましては、販売は、国内、北米、東南アジアの自動車向けが堅調に推移いたしました。受注は、東南アジア向けの需要が継続するに留まりました。

押出成形機におきましては、販売は、国内の造粒機や食品容器および光学用シート・フィルム製造装置を中心に増加いたしました。受注は、中国の二次電池向けシート・フィルム製造装置の需要調整が継続し、減少いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は、184億4千3百万円（前年同期比26.4%減）、売上高は、168億2千8百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は、1億4千9百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

工作機械におきましては、販売は、国内の産業機械や建設機械向け、北米の航空機向け、東南アジアの産業機械向けを中心に増加いたしました。受注は、国内、北米、中国の建設機械向けは堅調に推移いたしました。産業機械向けの減少を受けて、軟調に転じました。

精密加工機におきましては、販売は、国内の自動車用光学金型向けや中国の光学およびスマートフォン金型向けに堅調に推移いたしました。受注は、国内のレンズ金型加工や自動車の光学部品金型向けおよび中国のスマートフォン金型向けに堅調に推移いたしました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は、75億1千6百万円（前年同期比8.7%減）、売上高は、67億8千4百万円（前年同期比31.1%増）、営業損失は、1億4千6百万円（前年同期は営業損失6億8千2百万円）となりました。

その他の事業（産業用ロボット、電子制御装置など）

産業用ロボットにおきましては、販売は、国内の自動車関連業界等の自動化関連設備向けが軟調に転じ、国内外とも調整局面が続いております。受注は、全体は軟調ながらも、東アジアを中心とした電子デバイス・スマートフォン等の組立自動化設備向けが、回復傾向にあります。

この結果、その他の事業全体の受注高は、24億7千8百万円（前年同期比15.9%減）、売上高は、28億5千8百万円（前年同期比20.9%減）、営業損失は、4億8千9百万円（前年同期は営業利益3億3千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ22億3千6百万円減少し、1,484億8千8百万円となりました。減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が23億2千4百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億3千3百万円減少し、671億9千3百万円となりました。減少の主な内訳は、前受金が6億8千9百万円増加したものの、未払費用が10億1千万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ19億2百万円減少し、812億9千5百万円となりました。減少の主な内訳は、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等によります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,592	24,731
受取手形及び売掛金	37,405	35,081
商品及び製品	12,153	11,091
仕掛品	29,793	33,593
原材料及び貯蔵品	73	67
その他	3,909	2,482
貸倒引当金	△89	△58
流動資産合計	108,838	106,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,350	39,096
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,052	△28,000
建物及び構築物（純額）	11,297	11,095
機械装置及び運搬具	24,185	24,426
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,964	△22,048
機械装置及び運搬具（純額）	2,220	2,377
土地	6,460	6,460
リース資産	264	262
減価償却累計額及び減損損失累計額	△160	△155
リース資産（純額）	104	107
建設仮勘定	130	97
その他	7,428	7,425
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,877	△6,895
その他（純額）	550	529
有形固定資産合計	20,765	20,667
無形固定資産		
その他	641	609
無形固定資産合計	641	609
投資その他の資産		
投資有価証券	18,379	17,967
長期貸付金	16	15
繰延税金資産	703	800
その他	1,726	2,052
貸倒引当金	△345	△613
投資その他の資産合計	20,479	20,220
固定資産合計	41,885	41,498
資産合計	150,724	148,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,207	28,155
短期借入金	10,090	10,090
未払法人税等	466	133
未払費用	4,854	3,844
製品保証引当金	604	643
前受金	7,842	8,531
その他	1,423	1,864
流動負債合計	53,488	53,262
固定負債		
長期借入金	4,300	4,300
長期未払金	5	5
繰延税金負債	66	19
役員退職慰労引当金	32	33
退職給付に係る負債	9,475	9,414
資産除去債務	51	51
その他	105	106
固定負債合計	14,037	13,931
負債合計	67,526	67,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,538
利益剰余金	71,983	70,636
自己株式	△16,375	△16,375
株主資本合計	79,630	78,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,844	2,729
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	1,711	1,235
退職給付に係る調整累計額	△988	△953
その他の包括利益累計額合計	3,566	3,011
純資産合計	83,197	81,295
負債純資産合計	150,724	148,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	24,913	25,715
売上原価	18,171	18,497
売上総利益	6,742	7,218
販売費及び一般管理費	7,066	7,606
営業損失(△)	△324	△388
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	136	122
為替差益	225	—
受取賃貸料	13	12
その他	97	46
営業外収益合計	484	196
営業外費用		
支払利息	20	20
商標使用料	18	24
為替差損	—	37
持分法による投資損失	232	87
その他	53	40
営業外費用合計	325	209
経常損失(△)	△164	△401
特別利益		
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産処分損	1	21
特別損失合計	1	21
税金等調整前四半期純損失(△)	△162	△422
法人税、住民税及び事業税	232	132
法人税等調整額	△210	△113
法人税等合計	21	18
四半期純損失(△)	△184	△441
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△184	△441

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△184	△441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	△95
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	△3	△475
退職給付に係る調整額	40	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	△10
その他の包括利益合計	63	△555
四半期包括利益	△120	△997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120	△997
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,860	5,174	22,034	2,878	24,913	—	24,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	735	735	(735)	—
計	16,860	5,175	22,035	3,613	25,648	(735)	24,913
セグメント利益 又は損失(△)	144	△682	△537	330	△207	△116	△324

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用ロボット、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,828	6,784	23,613	2,102	25,715	—	25,715
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	755	755	(755)	—
計	16,828	6,784	23,613	2,858	26,471	(755)	25,715
セグメント利益 又は損失(△)	149	△146	3	△489	△485	97	△388

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用ロボット、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

(1) 受注実績

第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
成形機	25,046	18,443
工作機械	8,230	7,516
報告セグメント計	33,277	25,959
その他	2,945	2,478
合計	36,223	28,437

(注) 1. 上記金額に消費税等は、含まれておりません。

2. セグメント間取引については、相殺消去しております。